

第7回再生会議で出された意見に対する対応(案)
(事業計画策定にあたっての進め方に関して)

項目	意見概要	対応(案)
事業期間 見直しサ イクルに ついて	<ul style="list-style-type: none"> ・5年間の事業の計画が立てられず、毎年モニタリングをしながら、変えていくことが望ましい事業もある。 ・事業計画全体は、5年単位とし、個々の事業については、随時見直しをする。 ・概ね5年から10年を単位として策定し、概ね5年ごとに見直す。時間的な幅を持たせる。 ・PDCAマネジメントサイクルを担保するものを書く。 	<ul style="list-style-type: none"> ・事業計画と実施計画の記載内容の整理 ・基本的には概ね5年間の計画だが、個々の事業については状況変化があれば弾力的に見直す。 ・実施計画において、PDCAサイクルによって実施する内容をチェックし、必要なものは実施内容を毎年変えていく。
内容	<ul style="list-style-type: none"> ・目的、手法、必要性、見込み、できれば予算(費用対効果が考えられるような内容)を書く。 ・予想される結果について明示する。 ・事前に評価できるような内容とする。 	<ul style="list-style-type: none"> ・目的、方法、必要性、予想される結果、期待される効果等について事業計画で明示するよう努める。 ・予算については実施計画段階で整理する。
事業費・ 費用対効 果	<ul style="list-style-type: none"> ・事業費は判断する上で必要。 ・費用対効果が考えられる資料。 	事業計画において概算費用のオーダーを試算する。
時間軸	<ul style="list-style-type: none"> ・5カ年の取り組みだけではなく、全体の事業の見取り図が付属資料であるとわかりやすい。 ・ある事業が何年頃は調査で、何年頃が実施計画に移るか、見通しを、時間軸に沿って見えるようにする。 ・個々の事業を、ネットワーク工程表で整理すると、わかりやすい。 	<ul style="list-style-type: none"> ・事業計画において、全体の見取り図として、時間軸を入れたものを資料として作成する。 ・前後の関連性のあるものはそれを含めて整理するよう努める。
事業間リ ンク	<ul style="list-style-type: none"> ・事業間でリンクしている問題は、トータルな考え方を、ある程度示す。 	事業計画作成過程で検討・整理する。